
目次

.....

【1】 --- 教員コラム 17 弾 第 5 回「図書館の思い出」学長／夜久均

.....

【2】 --- 本学発の論文新着速報（2023 年 7 月・8 月分）

.....

【3】 --- 「JoVE」 トライアルは 9/30(土)まで

.....

【4】 --- [9/19(火) 開催] 【UpToDate】 徹底活用セミナー

.....

【5】 --- 医中誌 Web,最新看護索引Web 一時停止のお知らせ

.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 ---教員コラム 17 弾 第 5 回「図書館の思い出」学長／夜久均

.....

図書館メール News 第 500 回記念号の教員コラムを依頼された。教員コラムは 15 年前から始まり、今まで延べ 130 人の教員が執筆されたという。この企画を根気よく続けてこられたスタッフの方々、また執筆を頂いた先生方に感謝申し上げます。私としては 3 回目の執筆になる。

今まで多くの施設に学生、研究者、医師として所属してきた。その中でアカデミアとしては京都府立医大、国立循環器病研究センター、ヴァーモント大学である。この中でヴァーモント大学内の図書館をその町の様子も含めて紹介したい。

ヴァーモント大学は、アメリカ東海岸のいわゆるニューイングランド地方にあるヴァーモント州の州都バーリントンにある。ヴァーモント州と聞いてすぐにその位置がピンとくる人はあまり多くないと思う。おそらくマサチューセッツ州のボストンやカナダのモントリオールに留学した人くらいではなかろうか。ニューイングランド地方の 6 州の内、カナダと国境を接しているのが東からメイン州、ニューハンプシャー州、ヴァーモント州である。バーリントンはカナダとの国境近くにある町で、郊外も併せて人口は 4 万人、非常にこぢんまりとした田舎町で、治安も良く、アメリカであっても鍵をかける必要は無かった。夏などに、庭に面したドアを開けておくと、リスが家の中に入り込んだりした。ただ冬の寒さ

は厳しく、容易にマイナス 20°C位になる。道が凍らないように冬は夜中に毎日自治体の車が塩（塩化カルシウム）を撒く。そのため、路面が凍って危ない思いはしたことがないが、車は常に塩を巻き上げて走っているため、マフラーが腐食して1シーズンに1回はマフラーを変えなければならない。走っていて突然暴走族のような音が出るようになり、そうなるとう最寄りのマイダス（日本のオートバックスのようなもの）に駆け込むことになる。冬が長い分、車で30分も走るとアパラチア山脈系のスキーエリアが多くある。コロラドのようなパウダースノウではないが十分楽しめる。ただリフトに乗ってゲレンデの上はマイナス30°Cの寒暖計が振り切れているので、せいぜい2本滑るとロッジでホットチョコを飲むというパターンになってしまう。また、秋の紅葉は素晴らしく、日本の情緒ある紅葉とは趣が全く違い、山全体が真っ黄色になるような紅葉で、車で走っていると車も身体もすべて真っ黄色になるような気がしたもので、日本ではできない経験であった。因みに、ハウスバーモントカレーはリンゴとハチミツが謳い文句であるが、ヴァーモント州は確かにリンゴの産地ではあるが、ハチミツの産地ではなく、メイプルシロップの有数の産地である。いつ入れ替わったのだろうか？

さて、本題に移る。私がヴァーモント大学にいたのは、1990年7月からの2年間余りで、リサーチフェローとしてカルディオロジーに所属し、来る日も来る日も動物実験をしていた。32歳から35歳にかけてのことである。ヴァーモント大学医学部の図書館は我々が実験をしていたビルにあり、実験が終わると毎日必ず図書館に寄り、そこでやることはジャーナルの閲覧、検索、そして文献依頼。どこの図書館もそうだと思うが、その空間は独特な匂いがし、そして静寂があった。いつも小1時間をそこで過ごし、また実験室に戻りその日の実験のまとめをして帰宅していた記憶がある。また図書館で定期的に行っていたのは次のポジション探しである。心臓外科医であるので、メスを置いて患者フリーになって実験に打ち込めるのは期間に限られている。ヴァーモント大学でのリサーチフェローの後は海外での臨床ポジションに就くことを自分では決めていたので、心臓血管外科系のジャーナルに掲載されている求人広告を、目を皿のようにして見ていたのも、今から思えば懐かしい思い出である。結局クリニカルフェローとしては、アメリカでは無くオーストラリアのシドニーで働くことにし、段ボール箱に詰めた荷物を、パーリントンからすれば地球の真裏のシドニーに送ることになった。

自分も含めて現代人は本の活字に触れることが少なくなった。街の書店の数は減り、図書館へ足を運ぶことも少なくなってしまった。得たい情報は容易にネットで手に入れることができる。しかし、図書館で目的以外の本に興味を持ち、借りて帰ったり、また書店で欲しかった本以外の興味を引かれた本をついつい買うことから人は教養や知識を得ていくのかと思う。ネットは非常に便利で必要であるが、得るものはあくまでも情報であり、知識、教養として身に着くものでは無いだろう。また、書面の活字を追う時間をできるだけ作りたいと思うし、定期的に図書館ものぞきたいと思う。

※図書館メール News 第 500 号を記念し、夜久学長に寄稿いただきました。過去の教員
コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 本学発の論文新着速報 (2023 年 7 月・8 月分)

.....

京都府立医科大学発の学術論文(PubMed 収載)のうち、2023 年 7 月・8 月発行分のものについて、お知らせします。(検索日 2023/9/14 187 件)

◆ ↓ 次の URL をクリックしてください ↓ ◆

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/myncbi/1FS3cNp9hWvAN/collections/63217244/public/>

この情報は以下の抽出条件のもとに月に 1 回お知らせしています。

- ①直近 2 ヶ月分
- ②論文の著者が本学所属

【3】 --- 「JoVE」 トライアルは 9/30(土)まで

.....

生物学・医学の最先端の実験をテキストや動画で視聴できる「JoVE」全コンテンツのトライアルは 9/30(土)までです。※学内限定

◆JoVE の説明動画：<https://www.youtube.com/watch?v=5FAS9pPectI>

◆JoVE アクセス先：<https://www.jove.com>

<研究用コンテンツ> ←マウス管理に関するコンテンツが好評です

[JoVE Journal](#)(ビデオ学術誌)

[JoVE Encyclopedia of Experiments](#)(実験のビデオ百科事典)

<教育用コンテンツ>

[JoVE Core](#) (ビデオテキストブック)

[JoVE Science Education](#) (分野別シリーズ)

[JoVE Lab Manual](#)(実験プロトコル集)

[看護教育に関するビデオ](#)も充実しています。

【4】 --- [9/19(火) 開催] UpToDate 徹底活用セミナー

UpToDate の基本的な活用方法に加えて「診療ガイドラインへのアクセス方法」「モバイル環境における音声検索」等、一歩進んだ機能を解説します。

【日時】 2023/9/19(火) 17:30~18:10

【対象】 医師・薬剤師・コメディカル等 UpToDate に関心のあるすべての方

【参加登録】 事前登録制。 [こちら](#)からお申込みください。

【アジェンダ】

- ・ 基本的な活用方法（標準・推奨治療法の把握、処方薬の決定支援など）
- ・ 重要な更新内容の把握
- ・ 関連記事から別記事を探す
- ・ 診療ガイドラインへのアクセス
- ・ 薬物相互作用の収録内容について徹底解説
- ・ モバイル環境における活用と音声検索（スマホ・タブレット）

【5】 --- 9/25(月) 医中誌 Web,最新看護索引Web 一時停止のお知らせ

システムメンテナンスのため、医中誌 Web・最新看護索引 Web のサービスが一時停止します。

【作業日時】 2023/9/25(月)0:00~3:00

【サービス停止時間】 作業時間内で 10 分~30 分の停止が 1 回発生します。

ご迷惑をおかけしますがご理解のほど、よろしくお願いいたします。

[Book Review]

フィリップ・ザゾヴ著 相原真理子訳 「耳の聞こえないお医者さん、今日も大忙し」

(草思社, 2002 年)

ユタ州で開業している「ろうの家庭医」の彼自身が経験してきた自伝。障害差別の少ないアメリカで、聞こえない医者としての先駆者でもあった。医学部に入学するのも大変だった時代である。その中で、医学部に入学し、妻に出会ったこと、家庭医になったこと、患者とのやりとり、子供とのたわむれなど日常的なことが書いている。自身が聞こえないことで困った事や苦勞したことが、不自由だからこそ、患者さんの身になって診察できた。確かに聞こえないからこそ、得られたこともあるだろう。

今回改めて読みなおすと、書中に電話をかけるエピソードがある。同じ障害を持つものとして…聞こえなくとも電話をかけられるレベルでないと聴診器で判断出来ないのではと思ってしまう。聞こえは工夫で解決できるものでもないので、複雑な気持ちもある。とは言え、日本でも聞こえないドクターとして働いている人がいる。欠格条項がなくなった事で障害で制限されていた時代が懐かしくもあり、撤廃により広がった職業に希望を感じつつ読みました。

※【欠格条項：障害を理由に免許、資格を制限するもの】日本では 2001 年に「欠格条項の見直し」があり、障害を持つ人も医者・薬剤師等なれるようになった。(2階閲覧室 490.28||Z)(M.H)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4794211457>

.....

図書館メール News 第 500 号 2023.9.14 発行 (隔週木曜日発行)

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/web/service/mailnews.html>